

## 1. 改築の考え方

入新井第二小学校は、校舎の大半が築60年近く経過するなど老朽化が進んでおり、全面改築に向けて、基本構想及び基本計画を策定しました。

改築にあたっての基本的な考え方をまとめるため、大田区では、令和元年度より「入新井第二小学校改築計画協議会」を設置し、具体的な検討に着手しました。大田区の上位構想や入新井第二小学校の教育理念の内容を踏まえながら、改築計画協議会の開催及びワークショップの活用により、委員の皆様、学校関係者、地域の方々との意見交換をさせていただきながら、基本構想及び基本計画の策定に向けて様々な協議・検討を行ってまいりました。今後は、この基本構想及び基本計画にまとめた考え方に則り、設計から工事へと取組を順次進めてまいります。

また、改築に際して、良好な教育環境を確保することを前提として、建物の容積率を活用し、地域特性や行政需要に応じた機能を置き込む複合化について検討しました。その結果、当該敷地には複合化に要する余剰面積が少ないため、複合化を行わないという結論に至りました。

### 本校改築の基本的な前提条件

- 学校部分と工事部分を仮囲いにより明確に仕切り、安全対策に十分配慮する。
- 体育館は、工事期間中も（既存体育館か新体育館のいずれかを）利用できる。
- 給食は、工事期間中も自校給食を継続する。
- 改築後の校庭は、既存と同等以上の面積を確保する。

## 2. コンセプト・施設整備方針

今後の学校づくりにおけるコンセプト、具体的な施設の整備方針を以下のとおり策定しました。

コンセプト 「子どもたちが楽しく学び、地域と共に健やかに成長できる学校」

- 施設整備方針
1. 意欲溢れる学びと心身の健やかな成長を実現する **学びと活動の場**
  2. 地域との関わりを大切にし、温かい人間関係を築ける **ふれあいと絆の場**
  3. 誰もが利用しやすく、災害時の利用にも配慮した **やすらぎと安全の場**

### 施設整備方針の実現に向けた対応イメージ

#### 学びと活動の場

- ・ 普通教室や特別教室と連携し発展的な学びが可能な多目的スペース
- ・ 児童の身近にあり、気軽に入りやすい図書室
- ・ 子どもたちが日常的にのびのびと活動できるプール、グラウンド、体育館等の運動スペース

#### ふれあいと絆の場

- ・ 他クラスや地域の方と交流ができる集会・発表スペース
- ・ 自然や動物とふれあえる環境
- ・ 大田文化の森などの周辺施設と連携し地域の絆を育む学校

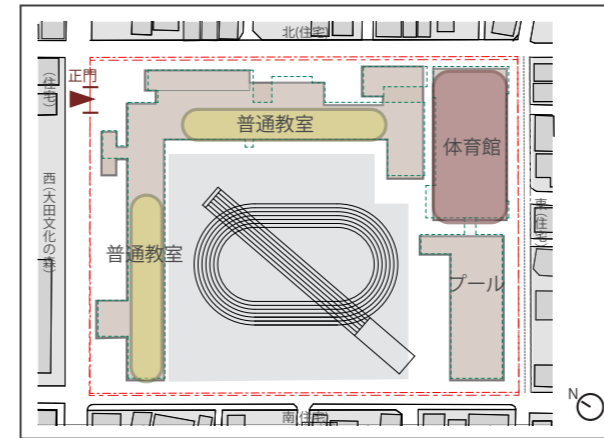
#### やすらぎと安全の場

- ・ 子どもたちの成長を見守る、安全でぬくもりのある学校
- ・ 地域の避難所となる防災機能の整備
- ・ 人権教育推進校として、ユニバーサルデザインを踏まえた誰もが使いやすい学校

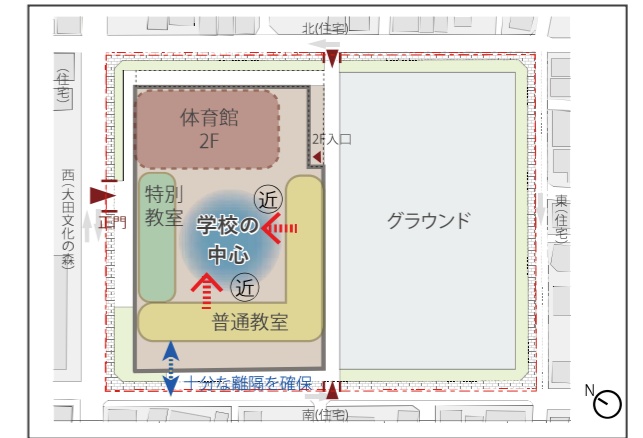
## 3. 現状の配置及び改築後の配置案

「グラウンドの大きさや日当たり」「普通教室の環境」「工事中の学習環境」「想定工期」「施設整備方針の実現性」などの視点から複数の案を比較・検討し、大まかな配置案を選定しました。選定に至った主な理由は以下のとおりです。

- ・ まとまりのある建物と整形なグラウンドが確保できる
- ・ 内部空間の求心性、動線の短縮化、校舎内の見通しの良さ、コミュニケーションの取りやすさなどメリットが大きい
- ・ 多様な使い方や連携がしやすい教室配置であるため、コンセプトや施設整備方針への対応も容易



現状の配置図

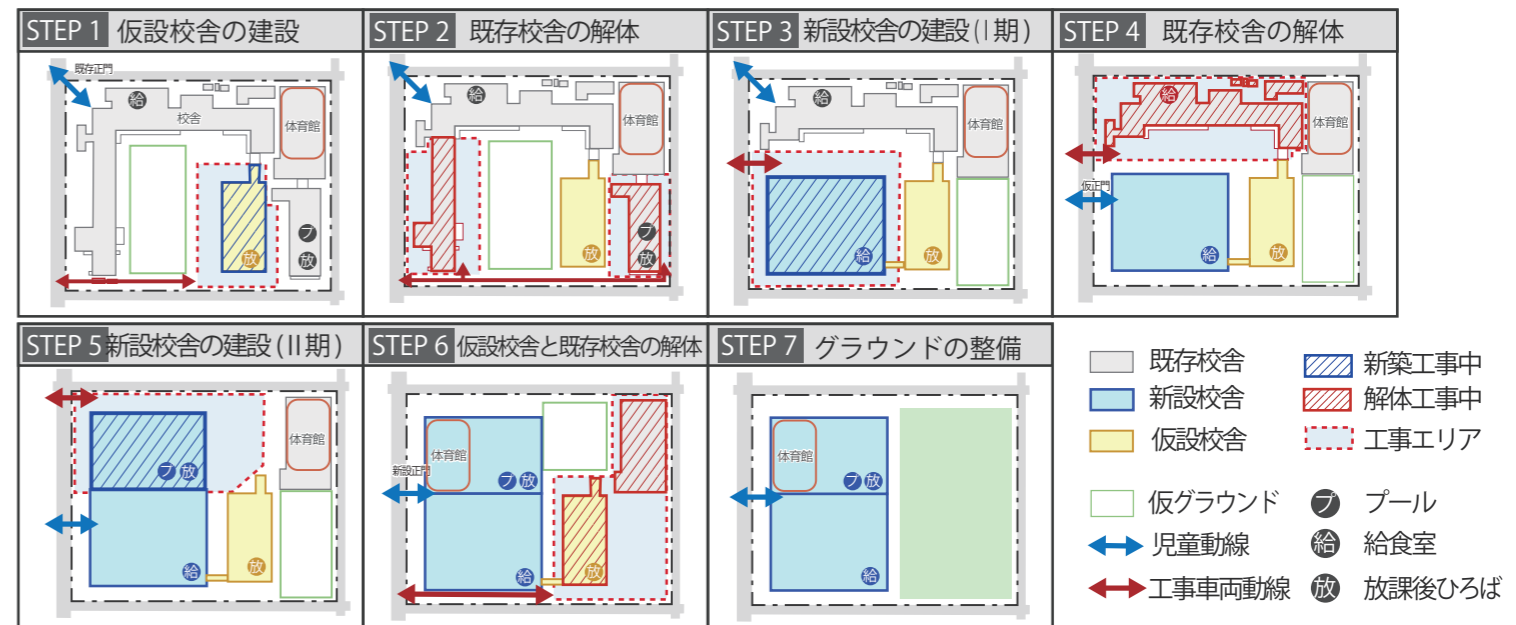


改築後の配置案

## 4. スケジュール案

設計	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
74ヶ月	基本構想・基本計画		基本設計・実施設計								
STEP1					仮設校舎						
STEP2					解体1期						
STEP3						新校舎1期					
STEP4							解体2期				
STEP5								新校舎2期			
STEP6									解体3期		
STEP7										校庭(グラウンド)	
						既存校舎・仮設校舎併用期間		新校舎・仮設校舎併用期間			
						プール使用不可期間(代替案を検討中)					
								仮グラウンド利用期間			

※本資料における「スケジュール案」については、現時点で予定しているものであり、今後の基本設計・実施設計における詳細な検討に伴い、変更する可能性があります。



## 5. 新校舎の概要（参考）

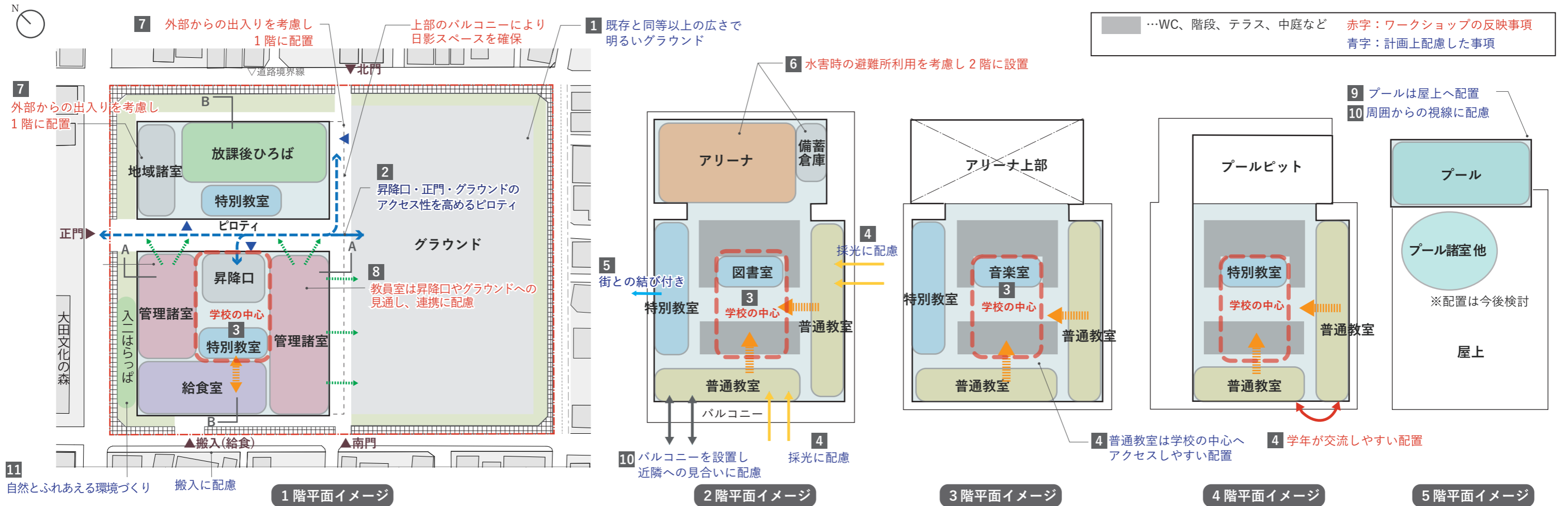
予定建物規模 延床面積：約 9,000 m<sup>2</sup>（ピロティ等を除く） 階数：地上 5 階建て（5 階部分は屋上、プール諸室、プール）、地下なし 構造：鉄筋コンクリート造

### 特徴

- 1 既存と同等以上の面積の明るいグラウンドを確保
- 2 正門とグラウンドをつなぐピロティを面して昇降口を計画し、外部空間へのアクセス性を向上  
ピロティにより、大田文化の森と学校の連続性を考慮
- 3 学校の中心に子どもたちの学びや交流を促す空間（図書室、音楽室等）を配置
- 4 普通教室は、採光に配慮して南西と南東向きに配置  
各学年ブロックがL型に学校の中心を囲む構成とし、学年のまとまりを確保しながら異学年交流を促進できる計画
- 5 特別教室は、大田文化の森側に配置して街との結び付きを創出
- 6 アリーナは、水害時の避難所利用に配慮し、備蓄倉庫とともに2階に設置
- 7 地域利用諸室・放課後ひろばは、外部からの出入りを考慮し1階に配置
- 8 教員室はグラウンドを含めた学校全体の中心に配置し、グラウンド側との連携にも配慮
- 9 プールは敷地の有効活用の観点から屋上に設置
- 10 近隣への日影や見合いに配慮し、上階の壁面を後退
- 11 歩道状空地（歩道として整備する区域）に面して緑地帯を設置  
既存の入二はらっぱを引き続き設置

### ゾーニング案

※本資料における「ゾーニング案」については、現時点で予定しているものであり、今後の基本設計・実施設計における詳細な検討に伴い、変更する可能性があります。



A-A 断面イメージ

B-B 断面イメージ